



『若菜集』(1897年、春陽堂)

朗読と音楽のひととき

没後80年 島崎藤村を読む

まだあげ初めし前髪の／林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の／花ある君と思ひけり

「初恋」より

島崎藤村 明治5(1872)年～昭和18(1943)年

詩人・小説家。現在の岐阜県中津川市馬籠出身。北村透谷らと雑誌『文学界』を創刊。24歳で東北学院の教師として来仙し、約十ヶ月の間に書き溜めた詩の数々をまとめ『若菜集』として刊行。ロマン主義の新体詩人として、同時代の土井晩翠と「藤晩時代」を築いた。のち小説に転じ、『破戒』で作家としての地位を確立。自然主義文学の代表的作家となった。作品に『新生』『夜明け前』など。

仙台が生んだ詩人・土井晩翠とともに詩壇に一時代を築いた島崎藤村。

没後80年を迎えた藤村の詩の世界を、朗読とギターの演奏でお楽しみいただきます。

日時：10月29日(日) 14:00～15:00

会場：仙台文学館1階エントランスロビー 定員：60名

出演：朗読 原西 忠佑 氏(俳優)

音楽 佐藤 正隆 氏(ギタリスト)

申し込み方法

往復はがきに、イベント名・氏名・住所・電話番号を明記して

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1 仙台文学館「晩翠忌イベント係」
までお申し込みください。

申し込み多数の場合は抽選。はがき1枚につき1名、また1名1枚までの
お申込みに限ります。

※いただいた個人情報は本イベントのご連絡以外に使用しません。

申し込み締め切り

10月12日(木) 必着